

本資料は 2022 年 2 月 25 日付で技術諮問委員会より提出された報告書に対して、NRRC 所長より出した返信レターを参考までに原子力リスク研究センターにて仮訳したものです。正式な報告書は英文版の原文のみとなりますのでご注意ください。

原子力リスク研究センター (NRRC)
一般財団法人 電力中央研究所
〒100-8126 東京都千代田区大手町 1-6-1

ジョージ・アポストラキス
NRRC 所長

2022 年 3 月 8 日

J. W. ステットカー氏
NRRC 技術諮問委員会 委員長

件名 2022 年 2 月 25 日付報告書「伊方 SSHAC レベル 3 プロジェクトの結果と日本における SSHAC ベースの PSHA 開発計画」

ステットカー委員長

伊方 SSHAC プロジェクトおよび日本における SSHAC ベースの PSHA 開発に関する我々の研究計画のレビューの中での議論に感謝申し上げます。NRRC は TAC の結論と提言について、以下の通り回答する。

1. 伊方 SSHAC プロジェクト

報告書において、委員会より「四国電力、NRRC、そして SSHAC チーム全体が、複雑ではあるが極めて重要なプロジェクトに取り組み、SSHAC ガイダンスに則って完遂したことに對して、祝意と賞賛を表す」とのコメントをいただいたことを大変嬉しく思う。

2. 電力会社の PSHA 計画への支持

NRRC は、電力会社と継続的に議論して、SSHAC ベースの PSHA の開発に関連した研究開発を実施する所存である。我々は、電力会社との建設的議論に基づき、電力会社を支援していくことが可能と考えている。

3. PSHA 実施ガイドに関する議論

NRRC は、実施ガイドについて、もっとも早い時期に同ガイドに関して議論する機会を設けるよう求める委員会の要請に応じる。

4. 地域別 PSHA 検討に関する研究開発

NRRC は、地域別検討の詳細計画について早期かつ定期的なブリーフィングを求める委員会の要請に応じる。

5. 個別サイト応答評価に関する研究開発

NRRC は、2022 年度から個別サイト応答評価に関する研究開発を行う予定である。地域別 SSHAC 評価に関連する議論においても、この件について議論することを検討している。

6. サイト固有の PSHA 検討

サイト固有の PSHA 検討の内容は、主に各電力会社によって決定される。NRRC は 2024 年度末までに、地域別 PSHA 検討とサイト固有の PSHA 検討を組み合わせた計画を電力会社に提案する予定である。計画策定後、委員会と計画について議論を行う。

敬具

ジョージ・アポストラキス（本人署名）